

平成 22 年度石狩市社会福祉協議会事業報告

平成 22 年度は、本会の「第四期地域福祉実践計画」と石狩市の「第 2 次地域福祉計画」の両方を併せ持つ「石狩市地域福祉りんくるプラン」（5 年計画）の初年度でありました。りんくるプランは「地域力の向上により、共に支え合あうまち“いしかり”」を基本理念とし 5 本の基本目標が定められ自助、共助、公助の連携で各事業を実施することとなっております。本会はこの計画の策定者として、また共助の中核的推進者として重要な役割を担っております。また平成 21 年度より指定管理を受けた「特別養護老人ホームあいどまり」「石狩市浜益保養センター（浜益温泉）」等入所施設や温泉経営等それまでとは形態の異なる新たな事業展開 2 年目の年でもありました。

りんくるプランの基本理念を意識しながら多くの新規事業の実地、既存事業に対応するため、事務局体制を一課制にして、職員間の共通認識を高めるとともに事業の効果的实施、具体化への創意工夫のため定期的なミーティングを行いました。

新規事業である『救急医療情報キット』では、高齢者世帯等の限定配布から原則全戸配布をすることといたしました。配布先が全戸になり、本会のシンボルとして親しみと愛着を感じてもらうため、藤女子大生の協力で、キャラクターデザインを作成いたしました。

また、本会与町内会、町内会と地域の結びつきが深まるよう、機械的にキットを配るのではなく、極力町内会長に直接お会いし趣旨ご理解いただいた上での配布協力に努めました。このキットが実際に市内に配布されたしたのは 6 月中旬以降であります。約半年で 23 件の活用があったと市消防署より報告をいただいております。

また、『ふれあいベンチ設置』や『ふれあいサロン設置』等々、他の新規事業についてはもとより、一部既存事業に対しても内部での話し合いを重ねました。なかでも昭和 61 年度より継続実施し平成 10 年度から現行の実施形態となっていた『ふれあい広場いしかり』については、その中心会場を屋外に変更し、各小委員会事業の一体化を図り、関係者、参加者からは好評を得たところでもあります。600 名を超える市内福祉関係者により一つの事業を作り上げ実施することは、まさに社協事業の象徴であり 3,100 名の市民の参加を見たところでもあります。しかし一方であらたに屋外でのバリアフリー対応等課題も生じました。

介護保険事業所については、従前に引き続き法令遵守を最優先し、運営規程等に基づき事業を展開いたしました。サービスの質の向上と社協職員自身の資質向上のため、年間計画の中で介護職員等に対し研修会を実施することで利用者の満足度の向上を図りました。

さらに、2年目となる障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業においても、花川南デイサービスセンター事業の一環として実施し、利用者の増を見たところであります。

平成21年度より新たに運営を開始した「石狩市浜益保養センター（浜益温泉）」では、センター長を中心に、おもてなしの心 ホスピタリティーを全従業員に浸透させ、来館者が気持ちも体もくつろげる保養センターづくりに努めました。また、区外からの利用者のため浜益ならではの創作人形の展示や他近郊温泉とのタイアップを行い地域のPRと同時に集客効果を目指しました。さらに食堂部門の充実、売店コーナーを新設し、夏期悪天候の影響を受けた温泉部門の減収を補完すべく、一定の売り上げを見たところであります。

決算状況については、資金の流れの決算である『資金収支決算』、事業の収支上成績を表す『事業活動収支決算』、決算期における資産状況を示す『貸借対照表』の3表にて報告いたしますが、事業活動収支、いわゆる損益計算書について総括すると、一般会計、公益事業特別会計、収益事業特別会計を合算した収入合計が5億1,103万5,386円、それに対して支出合計は5億879万70円となり事業外収支、特別収支と合わせ当期収支差額353万7,478円となりました。このことは、財源の確保はもちろんのこと、経費の節減、合理化に努めつつ財源の効率的な活用にも努めました結果であります。

以上、5年間の新たな計画の初年度にあたり、基本理念である地域力の向上を絶えず意識し、それぞれの部門にて計画どおり事業が実施されかつ健全な決算結果であったと総括し、以下各部門ごとの事業、別議案として決算状況について報告いたします。

1. 法人運営事業

「市民に開かれた社協活動・運営をめざして」

1-1 会務の運営

- (1) 各会議の開催
 - ・ 理事会の開催 開催回数 5回
 - ・ 評議員会の開催 開催回数 3回
- (2) 監査の開催
 - ・ 内部監査の実施 実施回数 4回

1-2 会員層の拡大と充実

- ・ 一般会員 17,176 世帯
- ・ 法人会員 100 社
- ・ 特別会員 278 件
- ・ 施設会員 20 施設

1-3 苦情解決やサービス評価の仕組みづくり

社協活動苦情窓口第三者委員2名の委嘱を行い、市民からの苦情受付窓口の充実を図りました。

1-4 社協組織の充実と事務体制の充実

りんくるプランの遂行、浜益区における受託事業の円滑な運営のため事務局体制を1課制とし、機能的に対応いたしました。

2. 企画広報事業

「豊かな情報の共有をめざして」

2-1 広報「社協ふれあい」の発行

年4回市内全戸配付をし、社協活動の情報開示と地域福祉活動への市民参加の必要性を啓発しました。

2-2 「明るい社会」の配布

道社協広報「明るい社会」を毎月、関係団体に配布致しました。

2-3 本会ホームページの充実

平成21年4月にデザインを一新した、本会ホームページの更新をしました。

3. 福祉活動推進事業

「地域福祉活動の推進役として」

3-1 救急情報の活用支援事業【新規事業】

自宅にきた救急隊に対し、迅速かつ正確に救急対応時に有効な情報を伝えるため、「救急医療情報キット」の配布を行いました。

- ・製作 24,000セット（ボトル・情報カード・ステッカー・使用説明書）
- ・配布 町内会の協力により、町内会に加入している全世帯を対象として配布
- ・ステッカー デザインを市内の大学より公募

3-2 ふれあいサロンの設置事業【新規事業】

孤独感を解消し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「石狩市ふれあいサロン事業」を広めるため、サロン設立の支援をしました。

またそれらサロンにおいて世代間交流実施事業が実施されたところでもあります。

- ・ふれあいサロン親船東（親船会館 毎月第3土曜日）

3-3 ふれあい給食サービス事業

孤立化しやすい方々と地域の結びつきを深め、更に町内会、民生委員、ボランティア等地域での地域福祉関係者の連携を深めることを目的としてふれあい給食サービスを実施いたしました。

- ・ふれあい給食サービス実施状況

実施地区名	内 容	回 数	参 加 延人員	ボランティア 延人数
花川南第一地区社協	配食	24	164	50
花川南第二地区福祉の会	配食・会食	24	291	82
花川南第三地域社協	配食・会食	24	686	315
花川南第五地区社協	配食	24	305	207
花川南第六町内会	配食	11	33	11
花川南町内会	配食・会食	22	413	197
花川南睦美町内会	配食・会食	24	658	86
ニューあかしや地区社協	配食	24	210	30
花川南栄地区社協	配食・会食	24	412	53
白樺福祉会	配食・会食	21	412	114
紅葉山地域社協	配食	24	312	192
緑苑町内会	配食	24	122	44
合 計		270	4,018	1,381

3-4 ふれあいベンチの設置事業【新規事業】

地域における住民のふれあいの場の提供を目的に、以下の場所にふれあいベンチの設置を行いました。

平成22年度 4カ所に計5基設置

- ・白樺会館前（花川北） 2基
- ・鎌田本店前（花川南） 1基
- ・花川整形外科医院前（花川南） 1基
- ・旧スタンド前（厚田） 1基

3-5 地域福祉コーディネーター養成研修事業

地域福祉の推進においては、幅広い視野から課題を捉え、総合的に解決していく、地域福祉コーディネーター（調整役）を養成し「安心して生活できる地域力を高める」ことを目標として、研修会を開催いたしました。

- ・日 時 平成23年2月21～22日

- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター301・302 会議室
- ・ 参加者数 28 名（地区社協役員・民生委員・町内会役員等）
- ・ 内 容 講義・演習（要援護高齢者の発見、声かけ、連絡調整ほか）
- 講 師 北海道総合福祉研究センター理事長 五十嵐教行 氏

3-6 地区社協活動推進事業

(1) 地区社協研修会

地区社協の運営に関する情報提供のため、研修会を開催しました。

- 日 時 平成 23 年 3 月 24 日(木)
- 場 所 石狩市総合保健福祉センター 2 階交流活動室
- 参加者 30 名（地区社協・町内会）
- 内 容 実践報告
 - 1 ニューあかしや地域福祉協議会会長 山谷 道隆 氏
「男の料理教室」
 - 2 花川南第二地区福祉の会事務局長 小島 静子 氏
「ふれあい給食会食会の取り組み」

(2) 地区社協連絡会議

地区社協の情報共有の場として、連絡会議を実施いたしました。

- 日 時 平成 23 年 3 月 24 日(木)
- 場 所 石狩市総合保健福祉センター 2 階交流活動室
- 参加者 26 名（地区社協関係者）
- 内 容 地区社協活動についての情報交換

3-7 地域福祉活動支援事業（小地域福祉事業助成）

地区社協または単位町内会がメニュー事業を 2 件以上計画実施する場合に、小地域福祉活動事業助成をいたしました。

- ・ 地区社協が行う事業への助成 15 地区×70,000 円
(うち 20,000 円は運営費)
- ・ 単位町内会が行う事業への助成 6 町内会 20,000 円

3-8 2010 ふれあい広場いしかりの開催

障がい者の社会参加、インクルージョンの普及、啓発を目的として「やさしさの風になろうよ」をテーマとして、市内関係者・団体により実行委員会を組織し 2010 ふれあい広場いしかりを開催いたしました。

- ・ 実施日 平成 22 年 7 月 18 日（日）
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター
- ・ 参加者数 約 3,100 名
- ・ 実行委員会 開催回数 3 回

3-9 第 21 回石狩市社会福祉大会の開催

地域福祉関係者、市民等が一堂に会し、お互いが地域福祉に対する共通理解を得ることを目的として、石狩市社会福祉大会を開催しました。

- ・ 実施日 平成 22 年 11 月 12 日（金）13 時 30 分
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター 交流活動室
- ・ 主な内容 講演『新潟県中越沖大震災と地域、社協の役割』
講師 新潟県長岡市社会福祉協議会地域福祉課長 本間和也氏

- ・ 参加者数 約 250 名
- ・ その他 同時に、1 階ロビーにて、石狩市障がい者関係団体連絡会議加入団体によるパネル展示と出店を実施しました。

3-10 石狩市障がい者関係団体連絡会議・障がい者週間記念事業の開催協力

石狩市内で活躍する障がい者団体、関係団体により、情報交換や連携を図ることを目的とし、市障がい者関係団体連絡会議並びに障がい者週間記念事業の開催に協力しました。

(1) 第 1 回石狩市障がい者関係団体連絡会議

- ・ 実施日 平成 22 年 10 月 21 日 (木)
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター 2 階地域福祉活動室 A
- ・ 議 題 役員改選について、平成 22 年度事業計画について、ほか
- ・ 参加団体 11 団体

(2) 平成 22 年度交流もちつき大会

普段市内で活動している障がい者、関係者が一堂に会し、お互いの交流を深め、更なる連携を築くことを目的として開催いたしました。また、「障がい者週間」を記念し、障がい者関係団体連絡会議に加入している各団体の作品展も同時に実施いたしました。

- ・ 実施日 平成 22 年 12 月 3 日 (金)
※作品展実施期間は、11 月 29 日 (月) ~ 12 月 3 日 (金)
- ・ 主 催 石狩市障がい者関係団体連絡会議
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター 1 階ロビー

3-11 地域福祉協力店舗の設置【新規事業】

福祉の原点である「助け合いの心」を広め、小さな心づかいで福祉を考えてもらう動機付けのひとつとして、石狩ハイスタンプ会加入店に募金箱等を設置しました。

- ・ 設置協力店舗数 62 店舗
- ・ 配布資材 のぼり・募金箱

3-12 福祉団体フリーマーケットの参加【新規事業】

地域福祉の財源確保を目的とした地域福祉フリーマーケット（仮称）の開催計画のため、今年度は事業の感触をつかむことを目的に、石狩まるごとフェスタでのフリーマーケットに出店いたしました。

- ・ 日 時 平成 22 年 8 月 21 日(土)~22 日(日)

4. ボランティア活動事業

「誰もが“一つのボランティア活動”をめざして」

4-1 ボランティアセンターの運営

ボランティア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい人との橋渡し役という調整の仕事を行うとともに、その他、地域でボランティア活動を行っている各種団体などと連携を図りながら、いつでも誰でも参加できるボランティ

ア活動の拠点づくりを行い、市民の方々が共に支え合うことによって、地域に住むすべての人が、心豊かに暮らすことができるまちづくりを目指してきました。

4-2 ボランティア需給調整と相談体制

(1) ボランティアセンターの相談体制

ボランティア登録、相談のために担当職員を配置しました。

(2) ボランティア登録

ボランティア派遣を円滑にするため、ボランティア登録を積極的に行いました。

- ・ 個人登録(重複含) 263名
- ・ ボランティア連絡協議会加入 (重複含) 140名 (11グループ)
- ・ ボランティア連絡協議会未加入(重複含) 413名 (25グループ)
- ・ 重複登録を除く実登録者数 755名 ※男性155名・女性600名

(3) ボランティア相談、調整

ボランティア登録やボランティアを必要としている方等、ボランティアに対する様々な相談を受けつけ調整を行いました。

(4) ボランティアの交流事業の開催

ボランティア登録者同士の交流や、情報交換の場として開催。

- ・ 日 時 平成23年1月25日(火)
- ・ 参加者 32名

(5) ボランティアのコーディネート

本会であらかじめ事業として計画されている以外に次の表のとおり、各ニーズに対しボランティアのコーディネートを行いました。

(施設・団体・地域)

派遣先	活動内容	回数	延人数
愛の家グループホーム石狩花川	特技披露	12	23
厚田区聚富地区社会福祉協議会	特技披露	1	3
厚田保育園	託児	1	5
石狩希久の園デイサービスセンター	特技披露	25	91
石狩市こども発達支援センター	子供の遊び相手	46	74
	プール療育指導	14	35
石狩市身体障害者福祉協会	移動介助・見守り	8	15
石狩仲よし保育園	介助的見守り又は遊び相手	7	7
えみな	清掃・食器洗い等の手伝い	128	228
オアシス 21	特技披露	23	53
	伝承遊び	12	30
	陶芸教室のサポート	9	11
	移動介助・見守り	6	18
生振の里	清掃	1	1
	草刈り	1	3
	祭りの補助	1	4
	繕い物	2	8
	クリスマス会サポート	1	3
ギャラリーヴィン	絵本の読み聞かせ	12	12
グループホーム延齢草	特技披露	13	13
	車椅子介助	1	1

ぐるーぷほーむ樹林	特技披露	8	8
グループホームはなかわ	特技披露	1	6
グループホームひなた	傾聴活動	40	40
	お話し相手	16	17
	車椅子介助	65	65
	特技披露	18	26
	移動介助・見守り	8	12
ケアハウスいしかり	手芸活動	9	9
	移動介助・見守り	1	1
	特技披露	1	5
ケアハウスりょくえん	クリスマス会サポート	1	2
	合唱参加	19	30
高齢者クラブポプラ会	特技披露	3	6
視覚障がい者協会瞳会	移動介助・見守り	2	3
社協	情報紙発送	11	33
	切手整理作業	7	52
スマイルハウス花	特技披露	3	5
たすけあいワーカーズエルサ	特技披露	1	3
デイサービスエルサ	移動介助・見守り	17	17
デイサービスクオレ花川中央	囲碁活動	45	45
	お話し相手	10	10
	移動介助・見守り	2	2
	特技披露	10	14
	麻雀	8	8
デイサービスセンター花畔	サポート	4	4
デイサービス我が家 樽川の家	特技披露	7	26
特別養護老人ホームばんなぐろ	車椅子介助	23	23
	特技披露	3	14
	祭りの補助	1	3
	移動介助・見守り	1	3
	ゆとりサークルのサポート	135	168
ニコピン倶楽部	伝承遊び	2	6
花川北老人デイサービスセンター	特技披露	16	54
	移動介助・見守り	14	41
	手芸活動	47	47
	デイにおける介助全般	237	369
花川病院	特技披露	14	37
	喫茶	12	40
	陶芸教室のサポート	13	37
花川南老人デイサービスセンター	移動介助・見守り	5	19
	囲碁活動	4	4
	特技披露	10	32
	麻雀	34	34
	手芸活動	57	57
ひとみ町内会	特技披露	1	2
ふれあいクリニック	特技披露	12	12

	移動介助・見守り	14	28
ふれあいサロン親船東	特技披露	2	4
北斗町内会	特技披露	1	4
ボランティア連絡協議会	特技披露	1	8
望来地区社協	特技披露	1	2
紅葉山地域社会福祉協議会	特技披露	1	3
リフレッシュ・デイサロン温泉堂	祭りの補助	1	5
	特技披露	1	3
ワークセンターポロレ	清掃・食器洗い等の手伝い	143	143
	小 計	1,447	2,289

(在 宅)

派遣先	活動内容	回数	延人数
独居高齢者宅	傾聴	30	60
高齢者宅	傾聴	15	22
	小 計	45	82

施設・団体・地域・在宅 合計	1,492	2,371
----------------	-------	-------

(6) 預託物品の払い出し

市民から寄せられた善意の物品を下表のとおり払い出しを行いました。

受 入 品 名	数 量	払 出 先	数 量
5月人形	1 式	デｲｰﾍﾞｽ なじみの家 花川北へ	1 式
7段雛飾り	2 式	デｲｰﾍﾞｽ なじみの家 花川北へ	1 式
		浜益保養センターへ	1 式
囲碁	1 台	特別養護老人ホーム ばんなぐろへ	1 台
ウェットティッシュ	282 袋	花川北老人デイサービスセンターへ	6 袋
		花川南老人デイサービスセンターへ	6 袋
		石狩市社会福祉協議会事業へ	270 枚
鉛筆	27 本	花川児童館へ	27 本
書き損じ往復ハガキ	5 枚	石狩市社会福祉協議会事業へ	6 枚
書き損じハガキ	1,083 枚	石狩市社会福祉協議会事業へ	1,083 枚
紙オムツ	7 袋	グループホームおやふねへ	1 袋
		特別養護老人ホームばんなぐろへ	6 袋
車椅子	1 台	グループホームひなたへ	1 台
座布団	20 枚	花川北老人デイサービスセンターへ	20 枚
シート	5 枚	花川南老人デイサービスセンターへ	2 枚
将棋	1 台	特別養護老人ホーム ばんなぐろへ	1 台
シルバーカー	1 台	リフレッシュホーム和みの家へ	1 台
洗濯洗剤	8 箱	グループホーム笑顔の村三番地へ	2 箱
		グループホーム樹林へ	2 箱
		グループホームはなかわへ	2 箱
		特別養護老人ホーム浜益あいどまりへ	1 箱
		特別養護老人ホーム浜益あいどまりへ	1 箱

雑巾	1,560 枚	市内小中高校へ	1,560 枚
タオル	232 枚	市内各施設等へ	232 枚
男性用下着	4 枚	はまますデイサービスセンターへ	4 枚
ティッシュペーパー	180 個	石狩市社会福祉協議会事業へ	60 個
		石狩市社会福祉協議会事業へ	60 個
		南線光の子保育園へ	15 個
		石狩仲よし保育園へ	10 個
		えるむの森保育園へ	10 個
		認定こども園花川南保育園へ	15 個
		えるむ保育園へ	10 個
低反発マットレス	1 枚	花川南老人デイサービスセンターへ	1 枚
ドライヤー	4 台	花川北老人デイサービスセンターへ	2 台
		花川南老人デイサービスセンターへ	2 台
名札ケース	129 枚	石狩市社会福祉協議会事業へ	129 枚
日本てぬぐい	5 枚	花川北老人デイサービスセンターへ	5 枚
尿とりパッド	52 袋	ケアハウスいしかりへ	1 袋
		デイサービスクオレへ	2 袋
		浜益デイサービスへ	1 袋
		特別養護老人ホームばんなぐろへ	1 袋
		特別養護老人ホーム浜益あいどまりへ	3 袋
		グループホームおやふねへ	3 袋
		特別養護老人ホームばんなぐろへ	5 袋
		グループホーム延齢草へ	5 袋
		デイサービスクオレ花川中央へ	5 袋
		特別養護老人ホームばんなぐろへ	23 袋
		グループホームすまいるへ	3 袋
液体洗濯糊	1 本	特別養護老人ホーム浜益あいどまりへ	1 本
はくパンツ	15 袋	オアシス 21 へ	2 袋
		ケアハウスいしかりへ	1 袋
		花川南老人デイサービスセンターへ	3 袋
		特別養護老人ホームばんなぐろへ	2 袋
		特別養護老人ホーム浜益あいどまりへ	1 袋
		グループホームおやふねへ	3 袋
		グループホームすまいるへ	3 袋
はくパンツ試供品他	9 枚	花川南老人デイサービスセンターへ	9 枚
バスタオル	1 枚	希久の園デイサービスへ	1 枚
肌着	16 枚	はまますデイサービスセンターへ	16 枚
パチンコ台	2 台	花川南老人デイサービスセンターへ	2 台
布巾	25 枚	ワークセンターポロレへ	25 枚
布団安心シート	2 袋	オアシス 21 へ	1 袋
		ケアハウスいしかりへ	1 袋
踏み台	1 台	花川南老人デイサービスセンターへ	1 台
未使用切手	54,009 円	石狩市社会福祉協議会事業へ	54,009 円

未使用ハガキ	70 枚	石狩市社会福祉協議会事業へ	70 枚
毛布	4 枚	花川北老人デイサービスセンターへ	1 枚
		花川南老人デイサービスセンターへ	3 枚

4-3 福祉教育の推進

(1) 小・中学生向け福祉とボランティア入門教室の開催

児童・生徒が参加しやすいよう夏休み期間を利用して、楽しみながら参加できる体験活動を中心とした入門教室を開催。ボランティア体験をとおり、「福祉」や「ボランティア」への関心をより深めることを目的としました。

- ・ 日 時 平成 22 年 7 月 29 日 (木)
- ・ 主な内容 手作り紙芝居を通し郷土の歴史を学び、高齢者福祉施設で紙芝居の読み手ボランティアを体験。
- ・ 参加人数 11 名 (男子 2 名 女子 9 名)

(2) ボランティア活動事業協力校の指定

ボランティア協力校として本会指定 7 校を指定し、福祉教育の推進につとめました。

- ・ 本会指定 浜益小学校、浜益中学校、紅南小学校、八幡小学校、花川小学校
花川北中学校、樽川中学校

4-4 マンパワー（ボランティア）の育成

(1) 介護員（ホームヘルパー）2 級課程養成研修事業の開催

介護員 2 級の資格取得をとおり、地域の人材育成を目的に開催。また受講者にはボランティアについての説明をし、センターの啓発を行いボランティア登録拡大に努めました。

- ・ 日 時 平成 22 年 12 月 14 日～平成 23 年 3 月 14 日
- ・ 参加者数 30 名

(2) ボランティアスクールの開催

「車イスの扱い方、介助の仕方」をテーマに、ボランティアに興味がある一般市民を対象とした入門講座を実施。併せてボランティア登録の周知を行いました。

- ・ 日 時 平成 23 年 3 月 17 日(木)
- ・ 参加者数 15 名 (一般市民 13 名、登録者 1 名)
- ・ 内 容 講義、演習

※終了後に 4 名のボランティア登録あり。

(3) ボランティア全道大会（ボランティア愛ランド）への参加

全道のボランティア実践者が一堂に会し、ボランティア相互の情報交換、資質の向上等を目的に開催した事業に参加。

- ・ 日 時 平成 22 年 10 月 30 日、31 日
- ・ 場 所 札幌市
- ・ 参加者数 16 名
- ・ 内 容 テーマ別分科会、全体会

4-5 ボランティア活動傷害保険

(1) ボランティア保険の加入促進

安心してボランティア活動が出来るようボランティア保険の加入促進を行いました。

- ・ 個人及びグループ登録保険加入者数 **462名**（昨年度 407名）
- ・ ボランティア連絡協議会保険加入者数 **109名**（昨年度 154名）
- ・ 活動保険以外の加入受け付けボランティア行事保険 **41件**

4-6 ボランティアセンター広報の充実

(1) ボランティア登録者情報紙「愉快的仲間」の発行

ボランティア登録者に対し、情報紙「愉快的仲間」を発行し登録者・市内施設等にボランティアセンターの啓発を行いました。

- ・ 年 **11** 回発行（**500～550** 部）
- ・ 臨時号(ハガキ)**1** 回発行（**280** 部）

(2) 「石狩・学びのスタンプ」への協力

学びのスタンプ制度運営委員会の主催により実施している「石狩・学びのスタンプ」制度に協力し、本会で開催したボランティアスクールをスタンプ対象講座として登録しました。

4-7 ボランティアグループの育成

(1) ボランティア連絡協議会への助成

ボランティアグループの連合体である、ボランティア連絡協議会に対して助成を行いました。また、事務局の一部機能を担いボランティアセンターとのより強い連携につとめました。

(2) 朗読ボランティアへの助成

声のお便り作成経費として助成いたしました。

4-8 シニアボランティア育成事業

長い社会生活で培った豊富な経験や知識をもとに、生涯現役で創造的に地域活動に参加し、また、自身ができるボランティアについて考えることを目指し開催しました。

- ・ 日 時 平成 **23** 年 **3** 月 **23** 日
- ・ 場 所 花川北コミュニティセンター 会議室 **B・C**
- ・ 参加者数 **35** 名
- ・ 内 容 講演（講師が携わる活動団体や、ボランティアについて）
ボランティアセンター概要説明
- ・ 講 師 北海道医療大学看護福祉学部准教授 長谷川 聡 氏

4-9 災害ボランティアセンター関連事業

石狩に災害時ボランティアセンターが設置された際に、ボランティアコーディネート(調整)ができるリーダー的役割を担う人材を養成するため研修会を開催しました。

- ・ 日 時 平成 **23** 年 **3** 月 **1** 日、**2** 日
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター 3階 視聴覚室
- ・ 参加者数 **41** 名
- ・ 内 容 テーマ「被災時における災害ボランティア活動とは」
講師 NPO 法人 Facilitator Fellows 理事・事務局長 篠原 辰二 氏

4-10 高齢者疑似体験教室【新規事業】

多くの市民でにぎわった「いしかりまるごとフェスタ」にて、高齢者疑似体験セットを使用した体験教室を実施。体験者や、その姿を見た市民に高齢者について考える機会として実施しました。

- ・ 日 時 平成 22 年 8 月 21 日、22 日

5. 調査研究事業

5-1 地域福祉推進プロジェクト会議

石狩市地域福祉りんくるプランの具体化のため職員によるプロジェクト会議を立ち上げ各事業実施に向けた情報収集、企画、検討を行いました。

- ・ 日 時 毎週月曜日 木曜日 業務終了後
- ・ 回 数 40 回

6. 住民よろず（心配ごと）相談事業

「誰もが気軽に足を運べる窓口を目指して」

6-1 住民よろず相談所の設置

毎週木曜日、民生委員の協力により相談所を開設しました。

- ・ 開設日時 総合保健福祉センター 毎週木曜日 午後 1 時～4 時
社協厚田支所・浜益支所 毎月第 3 木曜日 午後 1 時～4 時
- ・ 開催日数 51 日（総合保健福祉センター）、12 日（社協厚田支所・浜益支所）
- ・ 相談件数 11 件

6-2 相談員研修会の開催

よりよい相談所運営と相談員の資質向上を目指して、民生委員児童委員連合協議会と合同で研修会を開催いたしました。

- ・ 実施日 平成 23 年 2 月 1 日（火）13 時 30 分～
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター りんくる交流活動室
- ・ 参加者数 89 名（民生委員、主任児童委員、社協理事、地区社協役員）
- ・ 主な内容 講演：「見守り支援ネットワークについて」～八軒中央地区福祉のまち推進センターの活動を通して～
講師：札幌市西区八軒中央福祉のまち推進センター
事務局長代理 野島 紀子氏
報告：「住民よろず相談所の現状について」

7. 在宅福祉活動事業

「きめ細かな生活支援活動を目指して」

石狩市からの受託事業を中心に各種在宅福祉サービスを実施いたしました。

7-1 石狩市重度身体障害者入浴サービス（市受託事業）

市の委託により、在宅で入浴が困難な方に対して居室に浴槽を持ち込む入浴サービスを実施いたしました。

- ・ 実施延件数 128 件（実人員 3 名）

7-2 石狩市訪問サービス（市受託事業）

市の委託により、地域との交流のない独り暮らし高齢者に乳酸菌飲料配達による安否確認を実施いたしました。

- ・ 訪問延件数 8,502 件
- ・ 平成 23 年 3 月末利用登録者数 71 名

7-3 石狩市配食サービス（市受託事業）

食の自立支援サービスの一環として、ご自身で調理等の困難な方々に対して毎夕食を配食し、食事の提供と安否確認を目的とするサービスを、石狩市の委託により実施しました。

- ・ 配食延件数 24,424 食
- ・ サービス提供日 242 日
- ・ 平成 23 年 3 月末利用登録者数 181 名

地 区	登録者数	配食件数
石 狩	139	19,137
厚田区	10	1,365
浜益区	32	3,922

7-4 石狩市寝たきり高齢者等寝具洗濯乾燥消毒サービス（市受託事業）

市の委託により、寝たきり高齢者等に対して清潔な寝具で過ごせるよう、寝具洗濯乾燥消毒サービスを実施いたしました。

- ・ 実施延件数 14 件

7-5 石狩市寝たきり高齢者等理容サービス事業（市受託事業）

市の委託により、寝たきり等で理美容店に来店が困難な方に対し、理美容サービスを実施いたしました。

- ・ 実施延件数 15 件（内理容 13 件・美容 2 件）

7-6 福祉機器（福祉車両、車椅子等）貸与事業（社協事業）

簡単な手続きで利用できる福祉機器貸与事業を実施いたしました。

- ・ 車椅子貸出件数 71 件 168 台（研修事業への貸出を含む）
- ・ 高齢者疑似体験セット貸出 6 件 20 台
- ・ 行事用テント貸出 8 件 39 張
- ・ 福祉車両貸出 87 件

8. 総合保健福祉センター管理運営事業

「誰もが笑顔で行き交う活動拠点施設を目指して」

8-1 みんなに親しまれる「りんくる」の管理運営

(1) 会議室の使用状況

福祉団体、市役所や教育委員会などの公共機関の使用他、大勢の市民の方に“りんくる”を使用しています。

- ・ 年間利用件数 3,398 件
- ・ 年間延利用人員 75,247 名

(2) 福祉団体活動室の運営

福祉関係団体が気軽に活動できる場所として、福祉団体活動室を開放し利用していただきました。

- ・ 年間利用件数 303 件
- ・ 年間延利用人員 3,114 名

8-2 市民活動展示会・発表の場開放事業

(1) ふれあいロビーの有効活用

開放したロビーにおいて、展示・催し等に市民の憩いの場として幅広く利用していただきました。

- ・ 主な展示 平成 22 年度「障がい者週間」記念作品展、市内保育園児作品展（石狩市保育所連絡協議会）、消費者の日パネル展 石狩市共同募金委員会パネル展示
- ・ 主な催し 大正琴演奏会、もちつき大会

8-3 ふれあい喫茶開設事業

(1) ふれあい喫茶

市民の憩いの場となることを目的にボランティア連絡協議会の協力を得て開設し、市民の利用者から好評をいただきました。

8-4 老人憩の家運営事業

(1) 憩の家運営

石狩市から受託した憩いの家を管理運営しました。

- ・ 年間開設日数 294 日
- ・ 年間延利用人員 23,021 名（1 日平均 78.3 名）

(2) 憩の家その他事業

- ・ 陶芸教室 年間開催 228 日 参加延人員 2,674 名
- ・ ふれあい農園 開園期間 5 月～10 月 参加者人員 126 名

9. デイサービスセンター運営事業

「心の通ったデイサービス事業の推進」

- ・ 石狩市花川北老人デイサービスセンター
- ・ 石狩市花川南老人デイサービスセンター
- ・ 石狩市はまますデイサービスセンター

9-1 事業内容

(1) 送迎サービスの実施

安心して利用していただくために、介護職員が同乗し、玄関から玄関まで障害、身体の状態に応じた車両の利用に努めました。

(2) 健康チェックの実施

利用者の健康状態を把握するために、通所の際にバイタルチェックを行い、一日が楽しく過ごせるように健康状況の把握に努めました。

(3) 入浴サービスの実施

入浴の安全に努め、時間に余裕を持たせのんびりと入浴していただき、入浴が困難な方には特殊浴槽での入浴を行い安全面の配慮に努めました。

(4) 給食サービスの実施

利用者の身体状況、嗜好及び季節感のある料理を配慮し、鍋の日、バイキング食、屋外焼肉等楽しい食事を提供しました。またおやつも利用者が全員で食べ、コミュニケーションが取れる時間を設けました。

(5) 養護

利用者が、日中くつろいで過ごすことが出来るように、トイレ介助、爪きり、髭剃り等必要なケアを行いました。

(6) 日常動作訓練・レクリエーションの実施

遊びながら自然に体を動かすことが出来るレクリエーションや物を作る訓練を行い、又、季節に合わせて以下の野外でのレクリエーションも実施しました。

9-2 日常動作訓練・レクリエーションの実施

《石狩市花川北老人デイサービスセンター》

内 容	日 数	場 所	参加人数
お花見	5日間	戸田記念墓地公園	70名
ソフトクリーム	5日間	佐藤水産サーモンファクトリー	70名
買物ツアー	5日間	イトーヨーカドー屯田店	59名
紅葉ドライブ	5日間	戸田記念墓地公園	68名

《石狩市花川南老人デイサービスセンター》

内 容	日 数	場 所	参加人数
お花見	5日間	札幌農試公園他	62名
社会見学	5日間	石狩市弁天歴史公園	53名
買物ツアー	5日間	イトーヨーカドー屯田店	41名
紅葉ドライブ	5日間	朝里ダム	54名
家族介護者交流会	5日間	花川南デイサービスセンター	利用者 107名 家族 14名

《石狩市はまますデイサービスセンター》

内 容	日 数	場 所	参加人数
お花見	3日間	浜益温泉公園ほか	41名
さくらんぼ狩	3日間	善盛園	37名
敬老祝賀会	2日間	はまますデイサービスセンター	36名

クリスマス会・年忘れ会	2日間	はまますデイサービスセンター	38名
ひなまつりの会	1日間	はまますデイサービスセンター	12名

石狩市花川北・南老人デイサービスセンター合同事業》

内 容	日 数	場 所	参加人数
遊びリテーション	1日間	花川南老人デイサービスセンター	利用者 39名 家族 2名
家族交流会	1日間	白い恋人見学と札幌プリンスホテルで食事会	北デイ 17名 南デイ 22名
南・北合同運動会	5日間	りんくる交流活動センター	北デイ 130名 南デイ 141名

9-3 職員の資質向上（各種研修会への参加状況）

《石狩市花川北老人デイサービスセンター》

研 修 名	出席人数 実施回数
施設内研修	12回
平成22年度新任介護職員研修	1名
平成22年度介護職員専門研修Ⅰ	1名
平成22年度北海道デイサービスセンタースキルアップセミナー	1名
平成22年度認知症介護実践者研修	1名
平成22年度カントリーミーティング	1名

《石狩市花川南老人デイサービスセンター》

研 修 名	出席人数 実施回数
施設内研修	12回
平成22年度新任介護職員研修	1名
平成22年度デイサービス施設長研修	1名
平成22年度認知症介護実践研修	1名
平成22年度北海道デイサービスセンタースキルアップセミナー	1名
平成22年度安全運転管理者等講習会	1名
平成22年度新任施設相談員専門研修	1名
北海道デイサービスセンター研究協議会	1名
老人福祉施設研究大会	1名
平成22年度感染症予防対策研修会	1名
平成22年度通所ケアマネジメント研修	2名

《石狩市はまますデイサービスセンター》

研 修 名	出席人数 実施回数
施設内研修	12回
平成22年度介護職員専門研修	1名
平成22年度デイサービス施設長研修	2名
浜ケアネット学習会	9回

9-4 平成22年度デイサービス利用状況

《石狩市花川北老人デイサービスセンター》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護													
要支援1	37	29	36	37	38	35	36	29	26	32	29	41	405
要支援2	72	62	83	66	64	81	74	85	104	95	83	98	967
小計	109	91	119	103	102	116	110	114	130	127	112	139	1,372
通所介護													
要介護1	181	165	203	197	192	180	185	199	179	191	206	230	2,308
要介護2	115	98	112	108	90	81	83	102	101	90	105	89	1,174
要介護3	95	76	98	91	81	73	66	80	71	71	66	64	932
要介護4	33	27	32	32	25	32	25	30	20	20	13	7	296
要介護5	8	7	11	9	10	12	7	2	0	0	0	0	66
小計	432	373	456	437	398	378	366	413	371	372	390	390	4,776
合計	541	464	575	540	500	494	476	527	501	499	502	529	6,148

《石狩市花川南老人デイサービスセンター》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護													
要支援1	10	14	29	18	20	16	4	3	7	8	8	20	157
要支援2	92	75	99	97	98	97	115	96	96	99	92	91	1,147
小計	102	89	128	115	118	113	119	99	103	107	100	111	1,304
通所介護													
要介護1	196	163	192	191	199	196	209	248	210	235	243	280	2,562
要介護2	114	93	112	90	93	89	64	70	65	75	66	73	1,004
要介護3	36	29	25	43	42	33	44	37	44	44	44	50	471
要介護4	7	3	10	11	10	9	10	9	5	10	14	19	117
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	353	288	339	335	344	327	327	364	324	364	367	422	4,154
認知症対応通所介護													
要介護1	9	7	9	9	9	8	9	9	9	8	8	9	103
要介護2	23	22	26	23	23	24	23	22	24	23	23	26	282
要介護3	17	4	8	4	5	0	0	0	3	4	4	7	56
要介護4	10	16	22	14	19	20	17	19	18	19	16	12	202
要介護5	25	20	26	23	26	24	22	24	24	22	23	25	284
小計	84	69	91	73	82	76	71	74	78	76	74	79	927
合計	539	446	558	523	544	516	517	537	505	547	541	612	6,385

《石狩市はまますデイサービスセンター》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防通所介護													
要支援1	34	35	38	37	33	38	32	32	35	25	20	40	399
要支援2	66	66	80	67	56	60	50	43	40	46	56	69	699
小計	100	101	118	104	89	98	82	75	75	71	76	109	1,098
通所介護													
要介護1	113	92	111	111	91	108	100	108	117	100	115	109	1,275
要介護2	58	43	57	39	40	38	42	46	24	35	38	31	491
要介護3	2	5	10	17	13	18	16	15	9	12	13	11	141
要介護4	0	0	0	2	0	0	2	4	3	1	0	0	12
要介護5	0	0	0	15	7	4	5	2	5	9	11	10	68
小計	173	140	178	184	151	168	165	175	158	157	177	161	1,987
合計	273	241	296	288	240	266	247	250	233	288	253	270	3,085

10. 訪問介護事業

「利用者の立場に立ったホームヘルプサービス事業の推進」

- ・ 石狩市訪問介護事業所はまます

高齢・心身の障がい及び疾病などのために、日常生活に支障がある家庭に対して、訪問介護員を派遣して利用者が健全で、安らかな在宅生活を送ることのできるよう援助するとともに、家族の介護の軽減ができるよう、居宅支援事業所や地域の社会資源を活用して、社協ならではのホームヘルプサービスを実施しました。

10-1 事業内容

(1) 生活援助

調理、衣類の洗濯・補修、掃除・整理整頓、生活必需品の買い物、預金の引き出し、預け入れ、公共料金などの支払い、官公庁手続き、その他のサービスなど、利用者のニーズと身体状況に応じてサービスを行いました。

(2) 身体介助の実施

移動介助（外出散歩介助、定期通院介助を含む）、体位変換、入浴、身体清拭、口腔清拭、手浴・洗髪、洗顔、整容（髭剃り、爪切り、整髪、耳かきなど）、化粧、衣類の脱着、排泄介助、食事介助、運動介助、服薬・塗薬を行いました。

(3) 苦情処理の対応

苦情受付窓口は石狩市高齢者生活福祉センターに設置し、苦情受付窓口と苦情解決責任者を設置しました。

10-2 平成22年度ホームヘルプサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・要介護 (登録数)	17	17	17	17	17	17	17	18	17	19	19	19	213
要支援・要介護 (派遣回数)	68	55	72	66	83	79	93	97	84	71	76	72	916

11. 障害福祉サービス事業

「残存機能を生かした支援の提供とサービスの質の向上をめざして」

- ・ 石狩市花川南ふれあいデイサービスセンター

11-1 事業内容

- (1) 送迎サービス
玄関から玄関までの送迎サービスの実施
- (2) 健康チェック
血圧測定、健康相談の実施
- (3) 入浴サービス
特別浴槽で実施
- (4) 給食サービス
食べやすく暖かい食事の提供
- (5) 生活相談
利用者、家族の悩み事や福祉サービスの相談を2回実施
- (6) 個別介護計画作成
計画に沿ったサービスを提供しています。
- (7) 往診の実施
往診4名、12回実施
- (8) 健康診断の実施
健康診断を2名1回実施

11-2 日常動作訓練、レクリエーションの実施

内 容	日 数	場 所	参加人数
お花見	2日間	札幌前田みどり公園、その他	2名
社会見学	2日間	石狩市弁天歴史公園	2名
買物ツアー	2日間	イトーヨーカドー屯田店	2名
敬老会	3日間	南デイサービスデイルーム	4名
紅葉ドライブ	2日間	小樽市ダム記念館（朝里ダム）	2名
クリスマス会	3日間	南デイサービスデイルーム	4名
新年会	3日間	南デイサービスデイルーム	4名
おひな祭り会	3日間	南デイサービスデイルーム	2名

11-3 平成22年度身体障害者デイサービス利用状況

《石狩市花川南ふれあいデイサービスセンター》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
生活介護													
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

区分 3													
障害程度 区分 4	3	0	8	7	1	6	6	6	6	3	0	7	53
障害程度 区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度 区分 6	17	17	14	19	9	15	18	16	15	15	16	17	188
合 計	20	17	22	26	10	21	24	22	21	18	16	24	241

12. 居住サービス事業

- ・ 石狩市高齢者生活福祉センター（居住サービスセンター）
- ・ 石狩市シルバーホームはまなか荘

12-1 居住施設入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高齢者生活福祉センター												
入居者数	8	8	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6
シルバーホームはまなか荘												
入居者数	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7

13. 資金貸付事業

「世帯更生への支援を目指して」

13-1 貸付希望者への相談援助

貸付を希望される方に対して、世帯更生につながるような相談援助を行いました。また北海道社会福祉協議会の補助金を利用し貸付専任相談員を設置し、相談者に対しより親身な相談に努めました。

- ・ 相談延件数 836 件（電話相談 268 件、来局相談 568 件）

13-2 福祉金庫の貸付

緊急生活資金として上限 50,000 円の福祉金庫の貸付を行いました。

- ・ 貸付件数 28 件（厚田支所 4 件を含む）
- ・ 貸付金額 1,053,000 円（ ” ” ）

13-3 生活福祉資金の貸付事業（道社協事業）の推進

北海道社会福祉協議会の資金である生活福祉資金の貸付を窓口機関として実施いたしました。

- ・ 貸付件数 4 件
- ・ 貸付決定額計 2,938,271 円

13-4 貸付調査委員会の開催

適切な貸付が行われるよう貸付調査委員会を開催いたしました。

- ・ 実施日 平成 23 年 3 月 18 日（金）

- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター2階 地域福祉活動室 A
- ・ 委員出席数 5名
- ・ 会議内容 平成22年度各貸付事業の貸付実績並びに償還状況について
福祉金庫不能欠損債務について

14. 居宅介護支援事業

「笑顔で訪問、笑顔で会話の介護保険事業を目指して」

14-1 ケアプラン作成事業

介護保険法を遵守し、利用者の自立支援に向けたサービス調整を行い利用者本位のケアプラン作成に努めました。

《平成22年度ケアプランセンター社協いしかり給付管理状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防プラン作成受託件数													
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
要支援2	6	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5	4	55
小計	7	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	63
給付管理件数													
要介護1	28	28	28	31	33	35	36	36	37	39	38	37	406
要介護2	19	19	19	18	19	20	21	21	24	21	21	20	242
要介護3	12	10	9	8	8	9	8	10	10	9	11	10	114
要介護4	2	3	6	5	4	5	5	3	5	5	6	7	56
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小計	62	61	62	62	64	69	70	70	76	74	76	74	820
合計	69	67	68	67	69	74	75	75	81	79	81	78	883

14-2 介護認定訪問調査受託事業

要介護度等決定の重要な要因となる訪問調査を市の委託事業として実施しました。

《平成22年度石狩市社会福祉協議会介護認定訪問調査状況》

月	石狩市計					市外	総計	
	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	療養型 病床群	医療機関	在宅			
4月	6	2	3	28	118	157	3	160
5月	0	7	2	13	109	131	2	133
6月	10	4	2	27	125	168	0	168
7月	6	3	4	25	118	156	1	157
8月	7	7	1	25	118	158	4	162
9月	9	3	0	21	134	167	4	171
10月	12	4	5	28	142	191	4	195
11月	6	6	3	20	158	193	1	194
12月	6	4	1	24	140	175	5	180
1月	7	5	4	21	124	161	5	166
2月	10	7	0	22	130	169	1	170
3月	15	11	2	37	144	209	2	211
計	94	63	27	291	1,560	2,035	32	2,067

15. 石狩市浜益保養センター管理運営事業

「サービスの向上と地域に根ざした施設運営を目指して」

15-1 よりよい温泉施設づくりに向けた取組み

お客様に気持ちよく利用いただくことを最優先に施設環境の整備、修繕を進めました。

- (1) 売店コーナーの立上げと扱いアイテムの充実。
 - ・ 5月より館内売店立上げ、浜益産品を主体として年間175万円の販売実績。
 - ・ 9月より玄関内無人売店開設。出店地元生産者3者。売上120万円。
 - ・ 浜益の昆虫クラフト創作、販売。
 - ・ 乳類販売許可取得。町村牛乳取扱開始
- (2) 市と連携し計画に基づいた安全、安心な施設設備への修繕、補修。
 - ・ 年間設備保守点検業者への現状把握の認識強化。
 - ・ 源泉汲み上げポンプ、サウナバーナー、メインボイラー、露天濾過器他
 - ・ 市包括センター、建築課との施設全体改修計画についての打合せ
- (3) 清潔な入浴環境の維持（清掃、衛生保持の徹底）
 - ・ 清掃手順の見直し、個人の経験則に頼らない作業平準化。
 - ・ 清掃洗剤・殺菌剤・清掃具、客用石鹸、洗髪材の品質、価格等の見直し。
- (4) 休憩スペースの見直し（和室畳替え、新聞・閲覧雑誌等、自販機の見直し）
 - ・ 和室1室（17.5畳）の表替え実施
 - ・ マッサージ器の設置場所の見直し（休憩ロビーの充実）

15-2 おもてなし、ホスピタリティ、サービス面の強化に向けた取組み

お客様にまた来たいと思っていただける満足の体感を目的に接遇面の向上を目指しました。

- (1) 顧客指向（職員の意識改革、お客様をもてなす意識）
 - ・ 職員の観光案内基礎知識を問う「浜益観光検定」実施。
- (2) 基本的応接マナーを身につける（市営施設の運営にたずさわっている）
 - ・ 浜益支所主催「地域作り研修会」、商工会主催「町興し講演会」、道経済部観光局主催「体験型観光商談会」、市観光協会主催セミナー「ディズニールランドのおもてなしの心」等参加、聴講。館内会議にて報告。
 - ・ 開館前に毎朝全員での朝礼（3分ミーティング）実施。
- (3) 災害時避難訓練の実施
- (4) 軽食コーナーメニュー見直し（固定化を避け季節感、お客様のニーズ対応）
 - ・ 市石狩鮭醤油らーめんプロジェクト参加。トップメニューに育つ（3月現在）
 - ・ 季節メニュー「ところてん、鍋焼きうどん、ピザトースト、牛丼、チャーハン、コロッケ」等売上貢献につながる。

15-3 効果的な営業・企画・広報活動

地域特性、立地状況を踏まえ効率的、かつ効果が期待できる営業・企画・広報活動を進める。

- (1) 地域客の利用増進

- ・ 住民冬季間割引・ポイントカード・民宿利用客優待券発行・短期間パスポート
- (2) 地域外からの利用客の取り込み
 - ・ 工事関係業者優待制度・ふるさと朝市客優待・果樹園利用客、黄金山登山客、すこやかウォーキング客・海水浴客・鮭釣り客等個別対応優待券発行
- (3) 隣接の地域、行政、施設との広域連携。新たな利用価値の創出。
 - ・ 道民の森・増毛岩尾温泉（共通スタンプ、共通入浴キャンペーン）・当別ふくろう会
- (4) 地域の歴史文化の紹介の場、交歓の場
 - ・ 八田人形展、六文焼作陶展、民芸交流（絵手紙、かるた会）の企画実施
- (5) 地場製品の紹介と販売
 - ・ 果樹組合、漁組浜益、産地直売組合とのタイアップ
- (6) 団体客獲得を主体とした営業活動
 - ・ 空知、後志の日帰り施設に情報交換で営業訪問
 - ・ 観光代理店、バス会社、JR、町会関係訪問
- (7) 認知度、知名度向上を目指す広報活動
 - ・ 市広報、市社協広報、民間パブリシティ、紹介番組TV・ラジオ、浜益温だより
- (8) ウェブ媒体を利用するリアルタイムな情報発信活動
- (9) 温泉を応援してくれるボランティアとの共感関係醸成

15-4 平成22年度石狩市浜益保養センター利用実績

(1) 温泉部門入館者数、食堂部門売上食数 売店部門売上

月	温泉入館者数			食堂食数			売店部門売上 (円)
	当年 入館者	前年 入館者	前年比	当年 食数	前年 食数	前年比	
4月	4,395	5,115	0.86	814	63	12.92	
5月	7,907	9,471	0.83	2,152	1,671	1.29	301,808
6月	6,153	6,068	1.01	1,566	911	1.72	162,335
小計	18,455	20,654	0.89	4,532	2,645	1.71	464,143
7月	8,373	8,365	1.00	2,317	1,382	1.68	253,164
8月	10,924	12,726	0.86	3,047	3,098	0.98	205,209
9月	5,749	6,672	0.86	1,427	1,623	0.88	189,581
小計	25,046	27,763	0.90	6,791	6,103	1.11	647,954
上期計	43,501	48,417	0.90	11,323	8,748	1.22	1,112,097
10月	5,551	5,103	1.09	1,508	1,290	1.17	265,038
11月	3,668	3,571	1.03	651	454	1.43	105,313
12月	3,073	3,166	0.97	362	283	1.28	69,995
小計	12,292	11,840	1.04	2,521	2,027	1.24	440,346
1月	2,833	3,028	0.94	367	303	1.21	58,470
2月	3,013	2,739	1.10	466	296	1.57	66,600
3月	3,431	3,577	0.96	583	404	1.44	82,750
小計	9,277	9,344	0.99	1,416	1,003	1.41	207,820
下期計	21,569	21,184	1.02	3,937	3,030	1.30	648,166
総合計	65,070	69,601	0.93	15,260	11,778	1.30	1,760,263

16. 特別養護老人ホーム事業

- ・ 石狩市特別養護老人ホームはまますあいどまり
- ・ 石狩市特別養護老人ホームはまますあいどまり短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護事業所

16-1 事業内容

(1) 介護部門

集団ケアから個別ケアへの移行により、サービスの質の向上と利用者の自己決定を尊重出来るような生活支援を行いました。

- ・ 利用者の主体性を尊重し、人生の先進の人達として常に尊敬の気持ちを持って言葉づかいには十分配慮。
- ・ 利用者の安全に心がけ、安心して生活できる環境づくり。

(2) 相談（介護支援相談員）部門

利用者・家族・地域関係機関との連携を密にし、個々のニーズに対応できるケアプラン作成に心がけ、より高い専門性を持って適切なサービスの提供を実施しました。

- ・ 機能訓練及びレクリエーションの実施
- ・ 重要事項説明と利用契約により利用者及び家族の不安解消。

(3) 看護部門

他職種との連携を深めながら利用者の生活空間の中で、個々の健康状態を把握し疾病予防を行いました。

- ・ 施設内感染対策の実施
- ・ 緊急時の対応
- ・ 個々の身体状況の把握に努め、疾病の予防と早期発見

(4) 栄養部門

家庭的な雰囲気の中で個々の嗜好に配慮し、食べることの喜びや楽しさを味わってもらえるような食事提供に努めた。

- ・ 家庭的な環境や食事提供方法の検討及び実施。
- ・ 特別メニューの実施
- ・ 利用者参加のおやつ作りを実施
- ・ 食堂及び厨房の衛生的な環境整備。
- ・ 食事検討委員会の実施（月1回）

(5) 短期入所生活介護（ショートステイ）支援

地域の高齢者やその家族が安心して生活できるよう、関係機関と連携し、ニーズに応じたサービスの提供に努めた。

- ・ 地域包括支援センターとの連絡体制の充実。
- ・ 利用者の在宅での生活、疾病等の把握。
- ・ 安全な生活援助及び送迎体制。

16-2 日常動作訓練、レクリエーションの実施

内 容	日 数	場 所	参 加 人 数
花見	1 回	温泉公園 他	20名
生きがい作り学園	1 回	はまますきらり	9名

バイキング昼食会	1 回	多目的ホール	23名
やまびこボランティア（民謡）	1 回	多目的ホール	11名
さくらんぼ狩り	3 回	中野果樹園	15名
ふくしの里 夏祭り	1 回	ふくしの里広場	23名
七夕	1 回	多目的ホール	23名
踊り山ボランティア（踊り）	1 回	ふくしの里広場	13名
野外ジンギスカン	1 回	ふくしの里広場	23名
ふくしの里 長寿を祝う会	1 回	多目的ホール	23名
十五夜	1 回	食堂・居室	23名
寿司バイキング	1 回	多目的ホール	46名
タラ鍋昼食会	2 回	多目的ホール	23名
クリスマス会	1 回	多目的ホール	23名
元旦	1 回	多目的ホール	19名
節分豆まき	1 回	食堂・居室	23名
ひな祭り	1 回	食堂・居室	23名
買物・ドライブ	随 時	区内 他	
レクリエーション	随 時	食堂・多目的ホール	
体 操	随 時	食堂・多目的ホール	
映画鑑賞会	月2回	多目的ホール	
誕生会	随 時	食堂	

16-3 職員の資質向上（各種研修会への参加状況）

研 修 名	出席人数
北海道医療大学 言語聴覚療法学会セミナー	1名
平成22年度 感染症予防対策研修会	1名
北海道「現任介護職員等研修支援事業」説明会	2名

16-4 平成22年度特別養護老人ホーム利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	34
要介護3	5	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	56
要介護4	8	9	11	11	9	8	7	7	7	7	7	6	97
要介護5	4	4	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	53
合 計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
利用実日数	549	555	582	587	594	595	587	588	582	598	526	586	6929

稼働率	98.9	89.5	97.0	94.7	95.8	99.2	94.7	98.0	93.9	96.5	93.9	94.5	94.42
平均介護度	3.65	3.70	3.75	3.75	3.70	3.75	3.70	3.70	3.70	3.70	3.70	3.65	3.70

16-5 平成22年度短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	21
要介護1	5	3	4	4	3	2	2	2	2	2	3	3	36
要介護2		1	1	1	1	1	2	2	4	2	2	2	19
要介護3	2			2	2	2	2	1	1	1	1		14
要介護4													
要介護5		1											2
合計	9	8	7	9	8	6	7	6	10	7	8	7	92
延利用日数	208	212	210	217	217	210	217	210	202	203	196	217	2519
稼働率	99.0	97.7	100	100	100	100	100	100	93.1	93.5	100	100	98.59
平均介護度	1.33	1.50	1.00	1.44	1.50	1.75	1.79	1.58	1.90	1.43	1.38	1.14	1.48

17. 認知症高齢者グループホーム事業

- ・ 石狩市認知症高齢者グループホームはまますなごみ

17-1 事業内容

(1) 快適な環境づくりと生活支援

- ・ 不安やストレスの少ない環境づくりの実施
- ・ 個々にあった日常生活時間への配慮の実施
- ・ 職員間の連携（報告・連絡・相談）の徹底
- ・ 個々の力を見極めたそれぞれにあった援助の実施

(2) 健康・医療の充実

- ・ 精神状況や身体状況を把握した個別対応の実施
- ・ 他機関との密な連携と協力体制の確立
- ・ 健康維持に配慮した食事の提供
- ・ 口腔ケアの習慣化

(3) 地域社会との連携

- ・ 地域への声かけ等による啓蒙活動
- ・ 地域活動への積極的参加及び地域ボランティアの受入

(4) 家族交流

- ・ 面会時等各行事参加への呼びかけ
- ・ ケアプランの家族への開示
- ・ 電話等による家族との情報交換の実施

17-2 行事の実施

内 容	月/日	場 所	参加人数
映画鑑賞会	4/28	多目的ホール	6
観桜会	5/18	戸田記念公園	7
生きがい作り学園	5/21	きらり	7
バイキング昼食会	6/23	多目的ホール	7
大和山DVD鑑賞会	7/2	多目的ホール	6
やまびこボランティア	7/7	多目的ホール	6
夏祭り	7/31	施設前	7
映画鑑賞会	8/11	多目的ホール	6
踊り山（柏木）	8/17	施設前	7
映画鑑賞会	8/17	多目的ホール	5
野外ジンギスカン	8/18	施設前	7
敬老会	9/17	多目的ホール	7
十五夜	9/22	なごみ食堂	7
映画鑑賞会	10/6	多目的ホール	5
寿司バイキング	11/9	多目的ホール	7
タラ鍋	11/26	多目的ホール	7
クリスマス会	12/17	多目的ホール	7
元旦	1/1	なごみ食堂	7
節分	2/3	なごみホール	7
ひな祭り	3/3	なごみ食堂	7
カラオケ愛好会	3/27	多目的ホール	6

17-3 職員の資質向上（各種研修会への参加状況）

研 修 名	出席人数 実施回数
平成22年度 第3回 石狩市地域ケア会議全体会	1
平成22年度 認知症実践者研修（第3回実践者研修）	1
北海道介護支援専門員実務従事者基礎研修	1

17-4 平成22年度グループホーム利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1													
要介護2	2	3	3	4	3	3	3	3	2	2	2	2	32
要介護3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	29
要介護4	3	2	2	1	2	1	1	1	1				14
要介						1	1	1	1	2	2	2	10

護 5													
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
利用 実日 数	208	212	210	217	217	210	217	210	202	203	196	217	2519
平均 介護 度	3.14	2.86	2.86	2.57	2.86	3.0	3.0	3.0	3.14	3.29	3.29	3.29	3.03
稼働 率	99.0	97.7	100	100	100	100	100	100	93.1	93.5	100	100	98. 59

18. 関係福祉団体との連携、事務局支援

地域福祉推進を目的として各福祉関係団体・組織との連携に努め、同時に事務局を担いました。

18-1 石狩市共同募金委員会、日本赤十字社石狩市地区との連携・事務局協力

定款に基づき共同募金事業への協力・事務局支援、人道支援団体である日本赤十字社石狩市地区の事務局を担いました。

(1) 石狩市共同募金委員会

- ・ 評議員会理事会回数 10回
- ・ 赤い羽根共同募金実績 5,087,799円
- ・ 歳末助け合い募金実績 3,288,862円
- ・ 災害義援金 2,625,372円

(2) 日本赤十字社石狩市地区

- ・ 日赤社費実績 3,418,850円
- ・ 災害義援金 5,441,726円

18-2 石狩市民生委員児童委員連合協議会との連携・事務局支援

地域福祉の最前線にあり、共に地域福祉を推進する組織である市民生委員児童委員連合協議会と連携に努めました。また連合会の事務局を担い会務運営に協力しました。

(1) 地域福祉推進事業として社協経由で助成

- ・ 高齢者等訪問事業
- ・ たすけあいマップ制作事業

(2) 連合協議会事務局担当会務運営協力

- ・ 総会、役員会数 17回
- ・ 主催事業等 2回

18-3 福祉団体・当事者団体との連携・事務局支援

福祉団体・当事者団体として位置づけられる各団体の事務局を担いました。同時に地域福祉推進、福祉のまちづくりをめざし本会との連携に努めました。

(1) 石狩市高齢者クラブ連合会事務局支援

- ・ 総会、役員会、部会等回数 43回
- ・ 主催事業・行事数 7回
- ・ 会員数 2,946名(43クラブ)

- (2) 石狩市身体障害者福祉協会事務局支援
 - ・ 総会、役員会等回数 12 回
 - ・ 主催事業・行事等 5 回
 - ・ 会員数 96 名
- (3) 石狩市連合遺族会事務局支援/各单位遺族会事務局支援
 - ・ 連合遺族会会議等 2 回
 - ・ 会員数 (単位遺族会計) 90 名
 - ・ 石狩市遺族会事務局支援 社協事務局
 - ・ 厚田遺族会事務局支援 社協厚田支所
 - ・ 浜益遺族会事務局支援 社協浜益支所
- (4) 石狩市視覚障がい者協会瞳会事務局支援
 - ・ 総会、会議等回数 18 回
 - ・ 主催事業・行事等回数 3 回
 - ・ 会員数 20 名